

[資料編]

1 . ぶくい路面電車とまちづくりの会（ROBAの会）の概要	資- 1
(1) 設立趣意書	資- 1
(2) 活動経歴	資- 2
(3) 主な活動内容	資- 5
2 . 本調査における活動内容	資- 7
(1) のりのりマップ	資- 7
(2) マップDEのりつぎ調査隊	資-11
(3) まちづくり進歩ジウム「つないで生きる電車・バス」	資-15
(4) まちづくり市民団体とのコラボ	資-18
(5) 県外交流 交通・まちづくりグループとのコラボ	資-22
3 . 公共交通まちづくりアドバイザー会議	資-24
4 . まちづくりガイドブック	資-25
(協働による公共交通とまちづくりのすすめ)	

1. ふくい路面電車とまちづくりの会（ROBAの会）の概要

（1）設立趣意書

なぜ今路面電車？

21世紀、超高齢社会をむかえることとなります。20世紀に主役だったクルマも環境という大きな弱点があります。私たちが生きる場として、いまのクルマ中心のまちが本当にふさわしいのでしょうか。安心して誰もが利用でき環境に優しい公共交通機関として路面電車を残していかなければなりません。

この福井のまちは誰のもの？

もちろん、私たち一人ひとりのもの。私たちのものだけに、その未来には責任があります。行政や鉄道事業者が動きだすまで待っているだけではなく、自分たちの手で動かしていくことも必要です。20世紀を生きてきた私たちの責任で…。

夢のあるまちづくりを…

あなたの夢は何ですか？人それぞれ夢を抱いているでしょうけれど…。福井をもっと夢のあるまちにしませんか。安心して楽しく乗れる新しい路面電車を走らせませんか。その実現のために、私たち市民のひとりでも多くの声を大きな力にしてお互いにがんばりましょう。そして21世紀を夢のあるまちにしましょう。

私たちと一緒に新しい路面電車実現のために行動しませんか！

私たちは考えました。今こそ行動をおこななければならないと。自分の未来のために、そして私たちより後に生まれ未来の福井を背負っていく子供たちのために…。すでに、多くの先達の手によって実現すべきプランは提案されています。後は、自らの身体を動かして実現に向かって多くの人と行動するのみです。

平成13年2月23日 「ふくい路面電車とまちづくりの会」(ROBAの会) 発足メンバー一同

(2) 活動経歴

初年度

- 2001.2 ・ふくい路面電車とまちづくりの会発足 [設立総会]
- 2001.6 ・アースデイ出展 すまいるトラムのもみじ(手形)ペイント
- ・京福線存続の請願書を県議会に提出
- 2001.7 ・京福越前線再生に向けての緊急アピール
- ・総合交通対策特別委員会を傍聴
- ・ROBAによる公共交通ビジョン「ROBAの考えた福井の公共交通」を作成
- 2001.10 ・京福問題の解説冊子「福井の公共交通を考える」を作成
- ・市民活動セミナー2001 公共交通問題分科会参加・講師・実行委員
- 2001.10~11 ・トランジットモール社会実験開催記念自主イベント開催
- ・「すまいる トラム オリエンテーリング de ビンゴ!!」開催
- ・「探検マップワークショップ」開催
- ・「パネル展」(LRTとトランジットモールの紹介)開催
- ・特別企画「トランジットモール日記」
- ・パンフ「電車は走る北へ南へ...路面電車の走るまちふくい」発行
- ・社会実験視察県外市民団体との交流会開催
- 2001.11 ・RACDA高岡二塚キャラバン 参加
- 2002.1 ・中部運輸局京福電鉄廃線手続きに対する意見陳述
- ・「公共交通活性化アイデア集」作成
- ・司波寛さんを囲む懇談会
- ・上岡直見さんを囲む勉強会・懇談会
- 2002.2 ・福井消費者大会公共交通問題分科会参加・講師
- ・シンポジウム「どうする 地方都市の鉄道 - 福井モデルから考える地方都市鉄道活性化の方策 - 」開催(全国鉄道利用者会議との共催)

2年度

- 2002.4 ・無料電車「さくら電車に乗って、春祭り！」に協力
- ・「まちなか散策スタンプラリー」開催
- ・「さくら電車アンケート」実施
- ・総 会 記念講演「まちを再生する公共交通...先進事例に学ぶ活性化策」
武山良三氏(国立高岡短期大学助教授)
- 2002.5 ・アースデイふくいに参加「パネル展」
- 2002.6 ・LRV「MOMO」試乗会参加(岡山)
- ・RACDA高岡荻布キャラバン参加
- 2002.7 ・ROBA特別講義実施(福井大学)
- ・中部地区路面電車サミット in 豊橋参加
- 2002.9~10 ・ヨーロッパ・トラム視察
- 2002.10 ・まちづくり懇談会開始(第1回=以降毎月)

- 2002.11
 - ・鉄道存続のまちサミット in かつやま参加
 - ・鉄道存続のまちサミット市民団体交流会 in ふくい実施
- 2002.12
 - ・市民活動セミナー2002「コラボしよう！」参加・実行委員
- 2003.1
 - ・「住みたくなるまちづくりワークショップ」参加・委員
 - ・中部運輸局「交通アドバイザー会議」参加
- 2003.2
 - ・「まちづくりセミナー 福井におけるまちづくりのそもそも論」開催
講師：日本政策投資銀行調査役 藻谷浩介氏（まちなかNPOと共催）
 - ・L R V視察（岡山・広島・高知）
 - ・全国路面電車ネットワーク設立準備会参加
- 2003.3
 - ・勉強会「福井の条件下におけるL R V導入」

- 3年度
- 2003.4
 - ・ふくいのりのりマップ第1版発行
 - ・総 会 記念講演「レールに繋ぐバス交通」～地域におけるバス交通の実態と活性化の対策（参考事例）講師：中部運輸局
バスマップ完成記念パーティー
 - ・福鉄活性化協議会に意見書提出「福武線活性化に向けての突破口」
- 2003.6
 - ・アースディふくい ブース出展
 - ・えちぜん鉄道との懇談会
 - ・全国路面電車ネットワーク設立総会参加
- 2003.7
 - ・L R V視察（岐阜）
 - ・えちぜん鉄道開業イベント ブース出展
- 2003.8
 - ・R A C D A高岡戸出キャラバン参加
- 2003.9
 - ・丹南自治研究センター事業「電車でGOGO」フォーラム参加・講師
- 2003.10
 - ・勉強会「L R Vについて」
- 2003.10
 - ・路面電車サミット加盟
 - ・京都府久御山町まちづくり団体と交流
 - ・のりつぎ調査隊実施
 - ・まちづくりフェスタ ブース出展
 - ・「秋色のまちめぐり」実施（風流塾と共催）
 - ・のりつぎ調査隊ワークショップ開催
- 2003.11
 - ・全国バスマップサミット 事例発表とブース出展
 - ・「コラボしよう！2003」参加・実行委員
 - ・北陸3日間連続シンポジウム 中部地区路面電車サミット at 万葉線参加
 - ・北陸3日間連続シンポジウム 鉄道まちづくり会議・鉄道まちづくりシンポジウム参加
 - ・シンポジウムレセプション開催
 - ・北陸3日間連続シンポジウム R O B Aの会主催まちづくり進歩ジウム開催
“つないで生きる電車・バス”

～のりのりマップから見えてくる福井の公共交通とまちづくり～

- 2003.12
 - ・ L R V 視察（高岡）
 - ・ 福井市日の出地区住民との意見交換会実施
- 2004.1
 - ・ 全国都市再生モデル調査アドバイザー会議開催
 - ・ 新人福井市議会議員との意見交換会
- 2004.2
 - ・ 勝山市電車利用促進会議との意見交換会
 - ・ 松岡町まちづくり団体との意見交換会
 - ・ 美山町みやま未来塾との意見交換会
- 2004.3
 - ・ R O B A ワークショップ in みらくる亭
 - ・ 第 2 回全国都市再生モデル調査アドバイザー会議開催
 - ・ N P O フォーラム交通分科会参加
- 2004.4
 - ・ R O B A ワークショップ in サンワコン
 - ・ 北陸 3 県交通まちづくり N P O 交流会に参加
- 2004.5
 - ・ 近畿地方整備局全国都市再生モデル調査発表会
 - ・ R O B A の会設立 3 周年記念講演会開催
 - 「 L R T 導入へのアプローチ」講師：本田 豊（兵庫県）

(3) 主な活動内容

ROBAの活動	活動の概要	福井における公共交通の現状	福井における公共交通の課題
さくら電車	平成14のふくい春祭りにおいて、J Cの事業にROBAが協力。さくら祭りと越前時代行列にあわせて観客を対象に無料電車とパークアンドライドを実施。	通常時の渋滞はさほど深刻ではないが問題にされることもある。当日は、電車の無料運行とパークアンドライド3箇所を実施した結果、ベル前の乗降客数が普段の6.5倍となり、ベル前だけが機能した。実質のパークアンドライドの実験として成果を出した。福井にその絶好のロケーションが存在することも証明した。	渋滞対策とともに、パークアンドライド拠点と乗り継ぎ拠点を統合して設置、公共交通の在り方、使い方の改革を推進していくことが公共交通を活性化していく上で有効と考えられる。さらなる検証をしていきたい。
日本と世界の路面電車パネル展	平成13年の福井駅前電車通りのトランジットモール社会実験に協力。電車通り来街者に世界の路面電車活用政策の潮流、有用性について情報提供すべく写真と説明書きによるパネルを多数制作・展示した。	LRT, LRVについての情報が極端に不足。無理解と感情論に覆われている。鉄道活性化、LRT化、乗るしくみづくりの取り組みの機会もあったが見送られている。鉄道の将来価値、鉄道が存在することの意義が認識されていない。そのため、今後ますます情報を提供していく活動が必要。トランジットモール社会実験でのパネルの展示は来街者の関心を集めた。情報を提供すればある程度浸透していく可能性はある。	LRTとは何なのか。今までの鉄道の概念との違いはどこなのか。LRT化することで福井の交通体系はどう変わるのか。なぜLRT化を目指すべきなのか。それを官民に広く啓蒙し、繰り返し情報を提供していく必要がある。そして、どのようにLRT導入の枠組みを作っていくかを、官民でともに考えて、実際の動きにしていかなければならない。
オリエンテーリングDEビンゴ、トラムDEトリム	トランジットモール社会実験において電車に乗って福井の隠れた名所を訪ねるイベントを実施。楽しみながら電車利用を体験する仕掛け。親子などたくさんの参加者があり好評を博した。	車による子供たちの送り迎えが徹底し、公共交通の利用が視野に入っていない現状があり、電車に乗ったことのない子供、さらには電車に乗ったことのない親も多く存在する。	自動車に依存した市民の意識を無理なく変え、公共交通利用を促進していく取り組みが必要である。その点において、この様な形の啓蒙が福井では有効ということが確認できた。
京福電鉄存続運動	京福電車の存続運動については、ROBAの会は公共交通を重視する立場から実施した。その中で、この問題が京福だけの問題ではなく国全体の問題である等、情報提供に努めた。	福井には地方鉄道共通の問題が立ちはだかっている。「次」の問題も控えている。交通政策の問題点が露呈、県民の鉄道の将来価値、存在の意味への無理解も露呈した。「存続」はその問題への理解がある程度進んだ結果である。この問題への取り組みを通して市民意識の発芽が感じられた。	存続はしたが、問題はこれから。「乗る運動だけ」では鉄道を支えることは出来ない。住民の、自分たちの鉄道を「支える」意識の高まりを背景に乗るしくみづくりとまちづくりを官民協働で押し進めなければならない。
公共交通活性化アイデア集	県が京福電車の存続を決めた後、県職員や県民を対象に公共交通活性化のアイデアを募集。それに、ROBAの会として対応したものの。	利用しにくい数々の要因を抱えている公共交通に、ハードとソフトの適切な施策を施すアイデアを多数出したことで、改善を行う余地と方策がたくさんあることが、市民の間にも認識が深まったと考えられる。	今後、より具体的な施策へ展開し、地方における公共交通の問題に風穴を開ける取り組みが重要である。

ROBAの活動	活動の概要	福井における公共交通の現状	福井における公共交通の課題
のりのりマップ	バスや電車を利用するための情報が不足しているとの思いから、バスの情報を提供する取り組みとして、県バス協会の協力を得てバス・電車マップを制作した。	「バス乗り場がわかりにくい。」「路線間の乗り換えや主に利用する路線以外の路線についての情報が得にくい。」そのような公共交通利用に必要な情報の不在が乗らず嫌いを生んでいるのが現状である。	のりのりマップが市民に受け入れられ、情報を提供するソフト施策が有効であることが判明した。このような取り組みを益々進め、ソフトで現状改善の大きな割合を担う必要がある。
のりつぎ調査隊	平成15年11月のシンポジウム開催に先立ち、NPOや一般市民の参加を得て福井の乗り継ぎの実態を体験報告してもらった。そして乗り継ぎ調査隊ワークショップを開催、そこでまとめた結果をシンポジウムで発表した。	公共交通相互の乗り継ぎが極端に悪いことが報告され、乗り継ぎ調査隊の参加者からは「二度と乗りたくない」という声もあがった。公共交通がそれぞれ別個の体系で存在。供給が必要と遊離している実態が明らかになった。	乗り継ぎ調査隊のような市民参加の取り組みは、市民が公共交通とその問題を考える上で大きなメリットがあることが認識できた。市民が参加する仕掛けをこれからも打ち出していくと同時に、市民が公共交通を利用し、支える「意識」を育てていく必要がある。その中で、事業者同士の連携や、直通運転のような施策も組み込んでいく事の必要性を認識した。
路面電車サミット 路面電車ネットワーク参加広範な連携活動	路面電車の振興を図る全国的枠組み。ROBAはどちらも会員となっている。それ以外に中部地区、さらに北陸3県での連携も進めている。	全国の行政・事業者・市民団体が連携している。同じ問題を持つ各地域の連携は、国に対して発言力を得る。全国18都市の一角として参加。全国連携、中部連携、北陸連携それぞれが活発。しかし解決を図るべき問題は山積している。	福井は先進事例を創り出すことが可能な地域。北陸としての連携も重要。情報発信し、力を結集して全国共通の問題の解決を図る必要がある。
鉄道まちづくり会議参加	勝山市が発案し、全国に参加を呼びかけた。その後、昨年全国組織として立ち上げた。ROBAの会は当初より企画等を手伝った。全国の行政・事業者・市民団体の連携を図り、国に働きかける枠組み。	京福電車の存廃問題を体験したことで、地方鉄道問題では福井は先進的な活動を行い、重要な役割を果たすことになった。京福問題はとりあえず解決したが、乗る仕組みづくりはこれからである。また福井鉄道や越美北線、並行在来線の問題が出てくるのが明白である。LRT化はそのほか向こうにある。	事業者まかせ、行政まかせにするのではなく、市民もきちんと役割を担い、益々官民協働で地方鉄道問題に取り組む必要がある。全国に道筋を示す活動が、地方鉄道問題の端緒をつくった福井の役割である。
北陸3日間連続シンポジウム	平成15年11月22日～24日に実施。元々は別々の企画だったがROBAの会の提案で日程をつなげた。県域、官民の枠を越えた連携によって企画。	公共交通とまちづくりの市民活動において、北陸は注目を集めていると聞いたことがある。官の意識も福井・富山では高い。今後、取り組み次第では北陸3県のNPOの連携、官民の連携が進み、広域で鉄道事業者をサポートする取り組みの素地となる可能性がある。	連携・情報交換しながら積極的に活動を進め、施策を実施し、情報発信し、意識高揚につなげていく必要がある。北陸新幹線開業に伴う並行在来線問題が次に控えている。
コラボ参加	福井市の事業。NPOのフォーラムから発展、平成14年からコラボという名称を使っている。ROBAの会は平成13年から実行委員を出し、参加している。	福井市はNPOの連携が盛ん。コラボには実行委員も出した。この「コラボ」が福井の特徴的な活動形態になる可能性がある。交通問題についても、この枠組みを利用して市民の理解を広げていくことができる可能性がある。	コラボには、いろいろな可能性がある。コラボの枠組みをROBAも積極的に活用することで市民意識を高め、公共交通を核としたより良いまちづくりを推進していく必要がある。

2. 本調査における活動内容

(1) のりのりマップ

福井の電車、バスによる公共交通ネットワークは、JR西日本、えちぜん鉄道、福井鉄道、京福バスおよび自治体が運営するコミュニティバス（福祉バス）などによって構成されています。これらの公共交通に関する情報は、各交通事業者から発信されていますが、個別に作成されているため、バスや電車を利用するための情報が不足し、ネットワーク全体が分かりにくく、使いにくいものとなっています。ROBAの会では、この状況が公共交通が利用されない要因の一つになっていると考えていました。

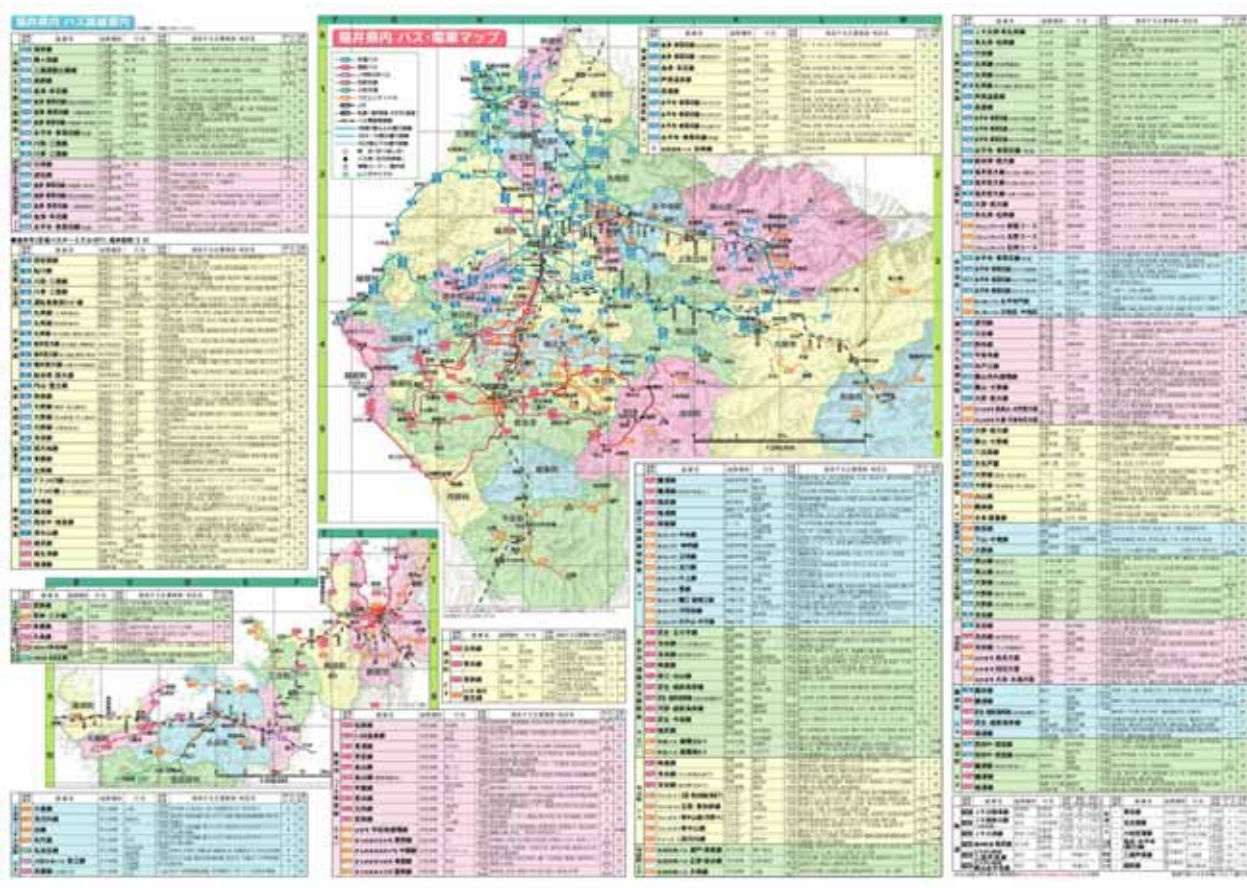
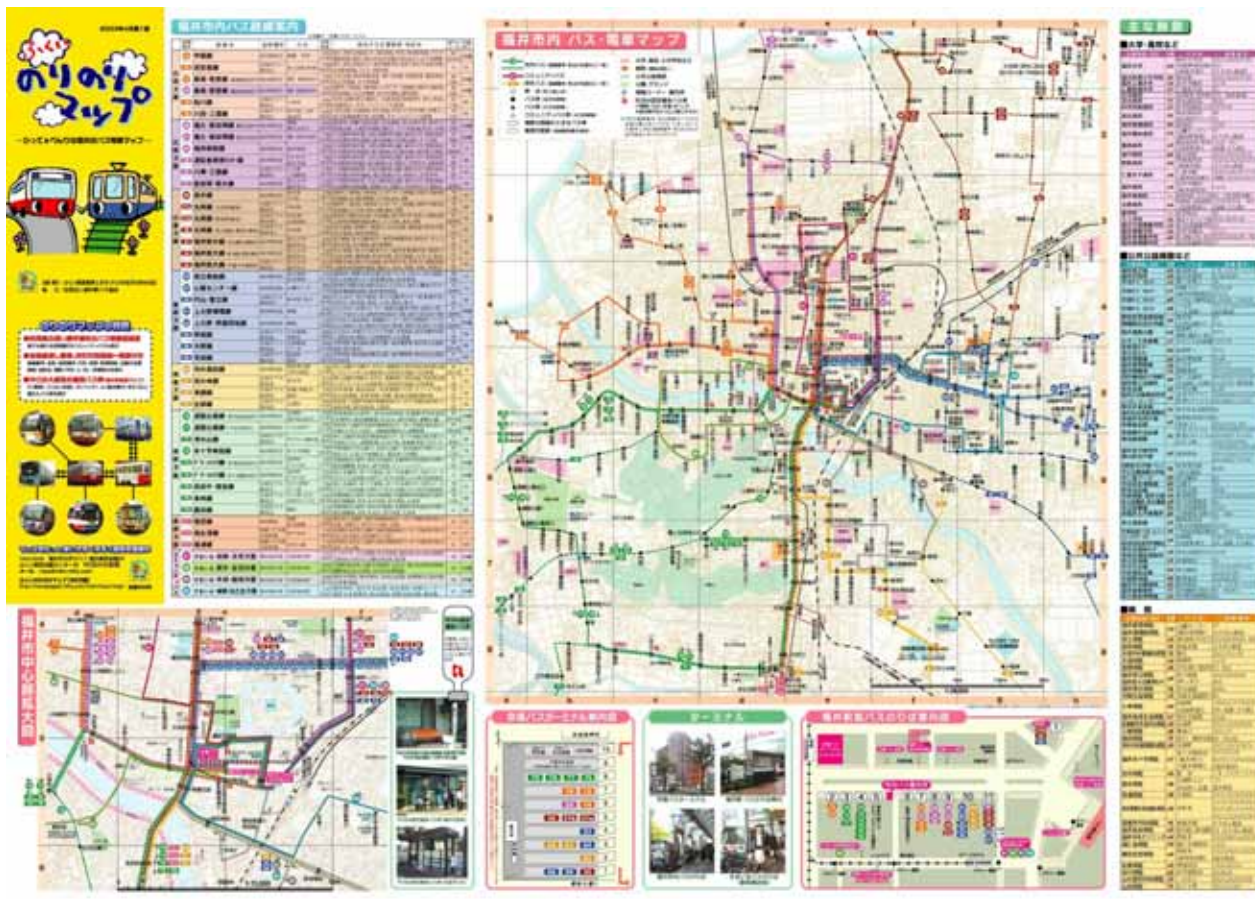
このため、福井県バス協会、NPO 日本都市計画家協会の助成金、および行政の協力金を得て、県下の電車、バスを網羅する『のりのりマップ』を作成しました。

『のりのりマップ』に記載した情報は、電車、バスの路線別の経路とバス停の位置を地図上にプロットしたものに加え、バス - 電車の乗り換えができる駅、ROBA認定優良バス停を表示するとともに、学校、病院、公共施設、公園なども記載しました。

『のりのりマップ』は、福井県、福井市、福井県バス協会などを通じて利用者の方に配布されるとともに、バスターミナルや書店で直接利用者に協力金との引き換えで配布し、約8,000部を利用者の方の手元に届けることができました。このことだけからも『のりのりマップ』は、利用者の方から一定の評価をいただけたものと考えています。

『のりのりマップ』は、紙面の都合もあり、時刻表を載せることができませんでした。この点について、利用者の方からもご意見をいただきました。今後、乗り継ぎが可能な駅で作成した地域時刻表を充実させるとともに、『のりのりマップ第二版』を作成する中で検討したいと考えています。





ROBAの会のバス電車マップがついに完成しました。その名も ふくい「のりのりマップ」

◆ バス電車が使いやすい

昨年、ROBAの会では公共交通便利グッズとして「地域時刻表：ROBA・うちの時刻表」を発売していますが、それと組み合わせることで、ますますバスや電車が乗りやすく、使いやすくなります。

◆ ゆとりある生活

これをきっかけに、福井のみんなの手にバス電車マップがいきわたり、みんなの意識の中に便利なバスや電車がイメージされ、子どもやお年寄りが安心して気軽に乗ってもらえるようになり、行動範囲が広がり、生活にゆとりが生まれることになるものとおもいます。

のりのりマップの使い方

◆ 地図から探す！

- ・地図から、行きたい所を通っているバス路線と、その全てにふってある路線番号が分かります。
- ・次に、「バス路線案内」の表を見ると、その路線番号の路線名や始発場所が分かります。

◆ 市町村別に行先や路線名から探す(全県マップ)

・市町村別になっている「バス路線案内」の表を見ると、行先や路線名から、始発場所が分かります。

◆ 施設名から探す(福井市街地マップ)

- ・福井市内は、「主な施設」の表を見ると、地図上の位置や停留所名、路線番号が分かります。

のりのりマップの特色 1

◆ 利用者の使い勝手優先のバス電車路線図

福井県内の全ての各社路線バス・電車を網羅し、定期運行の誰でも乗れるコミュニティバスも表示。

◆ 県内全路線の市町村別路線番号、一覧表付き

県内全路線に拠点駅別に路線番号をつけました。(81番以降の路線番号は、ROBAオリジナルです)

探しやすいように市町村別に、路線情報を表示。

のりのりマップの特色 2

◆ マップ表記の統一

日本中どこの都市にも利用者本位の公共交通マップが備わっていて、どこの都市のマップも基本的な読み方は同じで、それぞれに特色があると、どれほど便利で楽しくなるかわかりませんね。

のりのりマップの特色 3

◆ 路線別識別色表示(福井市街地マップ)

方面別に色分けするとともに、路線別に線種を区分した。また、路線が込み合う中心部は方面別に統合し、表示した。

◆ 運行頻度別表示(全県マップ)

運行頻度別に3区分して表示した。

のりのりマップの特色 4

◆ ROBA認定優良バス停(福井市街地マップ)

R：屋根、O：広い歩道、B：ベンチ、A：接近案内を3つ以上備えたバス停を表示した。



◆ 縮尺や距離も正確

1 km、10 kmの柵目や縮尺も入って、目的地までの距離や方向が正確に分かります。普通の地図としても使えてとても便利です。運行頻度別に3区分して表示した。

のりのりマップの特色5

◆ 乗換駅・乗換可能駅表示

- ・ 全県マップでは電車・バスの乗換駅を表示しました。
- ・ 福井市街地マップでは、乗換可能駅を表示しました。

これは、現在必ずしも乗換を考慮した運行ダイヤにはなっていないものの、工夫次第では乗換が可能になる駅やバス停をグルーピングしたものです。

方面別に色分けするとともに、路線別に線種を区分した。また、路線が込み合う中心部は方面別に統合し、表示した。



のりのりマップの応用1

◆ バス電車を使ったお勧めコースの案内

- ・ 魅力のある所に公共交通でいけるように案内したパンフレットを作成。（「風流塾」との共同企画）
- ・ 公共交通を乗り継ぐ回遊性が案内できて好評。全県マップでは電車・バスの乗換駅を表示しました。続編の要望多数。春版、他の地域版などのパンフレットの発行、新しいコースの開発

のりのりマップの応用2

◆ 新規路線の検討、広報（県郊外型公共施設送迎用バス：フレンドリーバス）

ベースマップとして使用

◆ コミュニティバスのマップの改良（鯖江市）

- ・ 下図を入れる
- ・ 路線番号を付ける

今後の展開1

◆ 第2版の発行

- ・ 年内に発行予定（発行資金のカンパをよろしく）

◆ WEB版の充実

- ・ 福井県公共交通時刻表作成中（県・県バス協会）

（ばすでんしゃ・ねっと・ふくい）<http://www3.ocn.ne.jp/~fba/>

- ・ 既存の時刻表とのリンク（電車、すまいる等）
- ・ 携帯時刻表とのリンク（福井市とタイアップ）

◆ マップを使った公共交通網の見直し提案

- ・ 路線の全体見直し提案、バスと電車の乗り換え可能駅でのダイヤの改善提案

今後の展開2

◆ 全国の公共交通マップ作成グループとの連携

- ・ 全国バスマップサミット岡山への参加（11月8日） 来年度、第2回は福井で開催。

(2) マップDEのりつき調査隊

福井の公共交通は、事業者間の連携がうまく行われていないため、公共交通を便利に乗り継ぐことができず、使い勝手が良くないとの指摘がありました。そこで、ROBAの会では、公共交通を乗り継ぐための情報を盛り込んだ『のりのりマップ』の効果を把握するため、『マップDEのりつき調査隊』を実施しました。

『マップDEのりつき調査隊』とは、市民の皆さんに呼びかけ、グループ単位でそれぞれの目的地まで実際に公共交通を乗り継いでもらい、その体験を通じて福井の公共交通を評価してもらった企画です。



初めて乗ったバスで、はしゃぐ調査隊員

マップDEのりつき調査隊集計表

平成15年11月24日現在

NO	グループ名	人数	出発地	目的地	実行日	のりつき行程	備考
1	家族連れ(子ども)	4	織田	永平寺	9月14日	織田 バス 神明 福鉄 花堂 徒歩 越前花堂 JR 福井 福井 えち鉄 永平寺 えち鉄 福井 福鉄 神明 バス 織田	朝倉氏遺跡の予定も待ち時間が長く、永平寺に変更
2	ヤング会社員	6	社南	県立大学	10月5日	社南 京福バス 福井 京福バス 松岡 県立大 県立大 京福バス 大名町 徒歩 福井駅前 京福バス 社南	大学祭に参加
3	年長者	2	社南	東尋坊 愛宕坂	10月	福井 えち鉄 芦原温泉 京福バス 東尋坊 京福バス 三国 三国 えち鉄 福井 すまいるバス 愛宕坂 すまいるバス 福井	芦原温泉、東尋坊周辺のバスは、便数多く便利
4	年長者	2	福井駅前	朝倉氏遺跡 永平寺	10月15日	福井 京福バス 永平寺 京福バス 永平寺口 永平寺口 えち鉄 福井 京福バス 朝倉館前 京福バス 福井	永平寺～朝倉館、福井経由で1時間以上、タクシーで直行なら15分
5	NPO会員	2	河増団地	愛宕坂 三国	10月2日	河増団地 バス 福井駅前 徒歩 駅前商店街 すまいる 愛宕坂 美術館など 愛宕坂 すまいる 駅前商店街 すまいる 田原町 えち鉄 三国 滝谷寺など 三国 えち鉄 田原町 徒歩 裁判所前 バス 河増団地	雨ですまいるバスが遅れたが、電話の「いまだサービス」を利用し、バス停で待たずにすむ
6	大学生	3	田原町	一乗滝	10月5日	田原町 えち鉄 福井 京福バス 朝倉資料館前 朝倉資料館前 京福バス 福井 徒歩 市役所前 福鉄 田原町	福鉄・福井駅前から田原町方面には行けずびっくり
7	中年会社員	3	三国・永平寺・福井	会社・片町	10月3日	各自宅 えち鉄、バスなど 西開発(会社) 会社 タクシー 片町 えち鉄、福鉄など 各自宅	呑み会なので電車で
8	チェアウォーカー	3	田原町	東尋坊	10月11日	田原町 えち鉄 三国 京福バス 東尋坊 東尋坊 京福バス 三国 えち鉄 田原町	駅にスロープ、段差多数、社内に車椅子用の席が欲しい
9	OL	2	JR福井駅	三国	10月18日	花堂・運動公園北口 JR・バス 福井 えち鉄 三国湊 ゆあぼーと ゆあぼーと 三国湊 えち鉄 福井 JR・バス 花堂・運動公園北口	イベントに参加、お酒を飲むため電車で
10	大学生	4	各自宅	大野	10月20日	福井 JR 越前大野 サイクリング 大野市街地観光 大野市街地観光 サイクリング 越前大野 JR 福井	大野で地酒を飲む。電車ならではの
11	大学生	4	福大文京 キャンパス	福大松岡 キャンパス	10月22日	西福井 えち鉄 松岡 徒歩 福井大医学部 医学部 タクシー 県立博物館 京福バス 文京	松岡から医学部行きバスが1時間40分待ち、あきらめて30分歩く
12	公務員	4	JR福井駅	大野・勝山	10月12日	福井 JR 越前大野 サイクリング 大野市街 サイクリング 越前大野 越前大野 京福バス 勝山 代替バス 永平寺口 えち鉄 福井	大野で地酒を飲む。電車ならではの
13	家族連れ(子ども)	5	鶺	ベルSC	10月13日	鶺 京福バス 東映前 徒歩 市役所前 福鉄 ベル前 ベル 徒歩 大町 京福バス 福井駅前 京福バス 鶺	雨(傘)、買い物の荷物、子ども連れで大変
14	子ども会	10	JR福井駅	大野	10月18日	福井 JR 越前大野 サイクリング 大野市街地観光 大野市街地観光 サイクリング 越前大野 JR 福井	大野駅で「電車で来た人だけに」と観光施設の無料券もらう

さらに、後日、参加した市民の方に集まっていただき、ワークショップ形式で公共交通の乗り継ぎ体験をまとめ、グループ発表を行いました。この結果は、後日ROBAの会が開催したシンポジウムで発表しました。

この『マップ DE のりつぎ調査隊』では、日頃電車やバスに乗る機会が少ないため、公共交通を利用すること自体が新鮮で、貴重な体験だったという参加者の素直な感想を多くいただきました。その一方で、公共交通相互の乗り継ぎが極端に悪いところがあるという報告もあり、乗り継ぎを想定していない福井の公共交通の実態が明らかになりました。

また、乗り継ぎ調査隊のような市民参加による取り組みは、参加者自身の公共交通乗車体験を通して公共交通を考える場を提供することになり、市民意識への働きかけとして大きな効果があることが認識できました。

ワークショップでは、参加者から以下の提案がありました。

- ・便数が少ないのだから、そのぶん案内情報を親切に
- ・待ち時間が長いのだから、そのぶん駅やバス停を快適に
- ・車と電車（バス）をうまくつないで、福井ならではのしくみづくりを
- ・事業者の垣根を越えて、目的地まで乗り継いで行けるネットワークを

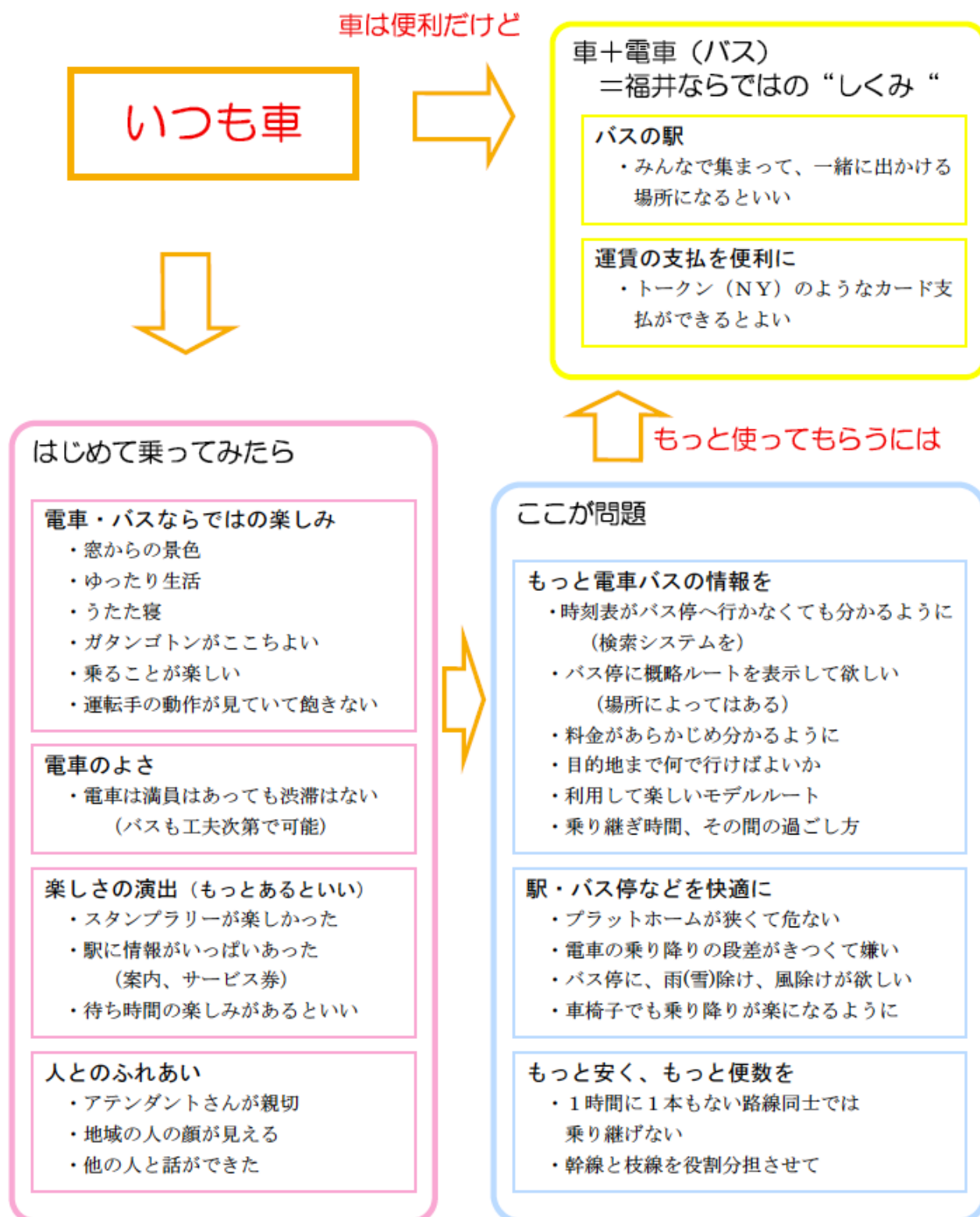
また、『のりのりマップ』については、移動中の現在位置が把握できて便利だと評価していただきましたが、時刻表などの情報を望む意見がありました。



乗り継ぎ隊行動シート



発表風景



⬇

はじめて乗って見たら

電車・バスならではの楽しみ

- ・窓からの景色
- ・ゆったり生活
- ・うたた寝
- ・ガタンゴトンがこちよい
- ・乗ることが楽しい
- ・運転手の動作が見ていて飽きない

電車のよさ

- ・電車は満員はあっても渋滞はない (バスも工夫次第で可能)

楽しさの演出 (もっとあるといい)

- ・スタンプラリーが楽しかった
- ・駅に情報がいっぱいあった (案内、サービス券)
- ・待ち時間の楽しみがあるといい

人とのふれあい

- ・アテンダントさんが親切
- ・地域の人の顔が見える
- ・他の人と話げできた

➔

ここが問題

もっと電車バスの情報を

- ・時刻表がバス停へ行かなくても分かるように (検索システムを)
- ・バス停に概略ルートを表示して欲しい (場所によってはある)
- ・料金があらかじめ分かるように
- ・目的地まで何で行けばよいか
- ・利用して楽しいモデルルート
- ・乗り継ぎ時間、その間の過ごし方

駅・バス停などを快適に

- ・プラットフォームが狭くて危ない
- ・電車の乗り降りの段差がきつくて嫌い
- ・バス停に、雨(雪)除け、風除けが欲しい
- ・車椅子でも乗り降り楽になるように

もっと安く、もっと便数を

- ・1時間に1本もない路線同士では乗り継げない
- ・幹線と枝線を役割分担させて

⬆

もっと使ってもらうには

調査隊ワークショップ テーブルB

結構いいじゃん！！

運転から開放
お酒が飲めた
居眠りできた

旅行気分
大勢と一緒に乗れた
車内から景色を楽しめた
待ち時間を楽しめた

モードチェンジ
レンタサイクル最高
えち鉄ーバスの接続はおみごと

良いサービス
車両が新しくなって快適
大野市の観光利用券
車内の料金電光掲示板
・・現在どこにいるのか良くわかる

ここは直して！！

便数少ない、料金高い
・・でも会社も大変だろう

バス停など乗りつき施設
雨が降ると困る
バスはもう行っちゃった？
心配でトイレに行けない

案内情報
バス停が見つからない
土地感がないと怖い
バス停に行かないと到着時刻がわからない

サービス
サービスの良し悪しに差がある
買物荷物を置きやすく



のりのりマップでバスが走っているのはわかったけど・・・
日頃使っていないバスはちょっと不安



じゃあ、どうだったら安心？



便数が少ないのだから
そのぶん案内情報を親切に

インターネットで運行案内
違う会社との乗りつき情報も
ケータイでわかれば出先でも安心

待ち時間が長いのだから
そのぶん駅やバス停を快適に

雨が降っても安心な屋根
待ち時間を楽しめるベンチや花壇
バスロケや接近表示があるとトイレも安心

(3) まちづくり進歩ジウム「つないで生きる電車・バス」

「つないで生きる電車・バス」～「のりのりマップ」から見えてくる福井の公共交通とまちづくり～

『のりのりマップ』の発刊、『のりつぎ調査隊』の実施、『のりつぎ調査隊ワークショップ』の開催を受けて、平成15年11月24日、福井市のフェニックスプラザ小ホールにおいて『まちづくり進歩ジウム“つないで生きる電車・バス”～のりのりマップから見えてくる福井の公共交通とまちづくり～』を開催しました。

これは、『のりのりマップ』の発刊を契機に福井の公共交通の現状と乗り継ぎによる上手な公共交通の利用方法について情報を提供し、公共交通について見直していただく機会を提供することを目的に行いました。

当日は、横浜国立大学助教授（現教授）中村文彦先生の基調講演「都市における公共交通とまちづくり」のあと、ROBAの会の活動報告として、「のりのりマップの特徴と今後の展開についての報告」、「イベント輸送の公共交通利用報告」、「のりつぎ調査隊報告」、「のりつぎ調査隊ワークショップ報告」を行いました。

それを受けて中村先生をはじめ、中部陸運局から竹内鉄道部長、路面電車と都市の未来を考える会（RACDA）の岡将男会長、福井県出身でテレビ神奈川でアナウンサーを務める三崎幸恵氏を交え、会員でもある福井大学川上洋司教授のコーディネイトでパネルディスカッションを行いました。市民の皆さんの他、行政関係者、学識経験者、交通事業者など200名に及ぶ参加がありました。



乗り継ぎ隊の発表



パネルディスカッション

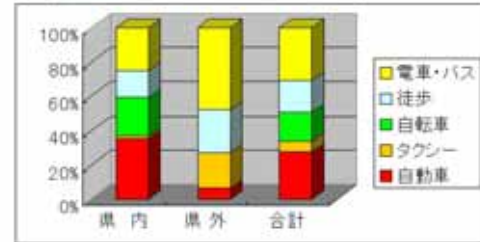
また、案内情報の有効性を検証するため、開催案内チラシに会場への詳細な公共交通情報を掲載し、受付時に会場までの交通手段をヒアリングしました。以前のイベント時と比較し、案内情報によって公共交通の利用が促進される結果となり、有効性を確認すること

ことができました。



今日の会場への交通手段は？

	県内			県外			合計		
	乗車	乗客	乗客	乗車	乗客	乗客	乗車	乗客	乗客
電車+バス	30	21	51	25	40	25	55	46	25
徒歩	19	11	30	16	25	18	35	26	18
自転車	27	0	27	22	0	22	49	0	16
タクシー	2	3	5	2	11	13	2	20	7
自動車	42	3	45	35	7	42	77	7	27
合計	120	44	164	100	100	200	183	73	256



さらに、当日は手話通訳を実施し、障害を持つ方々の多くの参加をいただきました。

その後の行政のシンポジウムでも、公共交通の案内や手話通訳による誰でも気軽に参加できるための配慮が、頻繁に行われるようになった。



まちづくり進歩ジウム！

つないで活きる電車・バス

～「のりのりマップ」から見えてくる福井の公共交通とまちづくり～

日 時：平成15年11月24日（月・祝日）
13:30～16:30

場 所：フェニックスプラザ 小ホール
福井市田原町1丁目13番6号 TEL.0776-20-5000
福井鉄道・えちぜん鉄道 田原駅前より徒歩1分

ROBAの会では福井県民生活に役立つバス・電車マップを発行し、好評を博しています。福井の公共交通について考え、新しい発展を築くための活動の場として、この機会に、定例のシンポジウムを開催いたします。

これを機に、定例のシンポジウムを開催いたします。

- 11月22日（土）第2回 中部国際空港乗降施設（MIA）の発展（講師：高野市典氏、テーマ：「人が人々をつくる」）
- 11月23日（日）「鉄道まちづくりシンポジウム」（講師：福井市市民会館、テーマ：「鉄道まちづくりがまちづくりをどうつくるか」）

基調講演

演題：「都市における公共交通とまちづくり」 中村 文彦 氏
講演者：中村 文彦氏（横浜国立大学助教授） Fumihiko Nakamura

事例報告

- 1) 「のりのりMAP」第2版報告
- 2) イベント周辺の公共交通利用報告
- 3) マップDEのりつぎ調査報告書
- 4) マップDEのりつぎ調査ワークショップ報告

パネルディスカッション

コーディネーター：川上 洋司氏（福井大学教授）
パネリスト：中村 文彦氏（横浜国立大学助教授）
竹内 繁氏（中部国際空港副社長）
岡 裕男氏（福井県庁都市計画課長）
三輪 幸恵氏（テレビ福井のアナウンサー 福井市出身）

主催：ふくい鉄道電車とまちづくりの会（ROBAの会）
共催：ふくい日本都市計画協会（中）近畿建設協会
福井県都市計画課
福井県交通振興課
協賛：国土交通省中部運輸局
後援：福井県（中）福井県バス協会（中）福井バス協
福井鉄道（中）えちぜん鉄道（中）

ROBAの会
ふくい鉄道電車とまちづくりの会
TEL:0776-20-5000 FAX:0776-20-5000
〒918-8031 福井市田原町1丁目13番6号

シンポジウムのま

平成15年3月に、福井「新世紀の公共交通ビジョン」を、福井市は「福井市公共交通ビジョン」を策定し、行政の公共交通政策が明確になった。また、ROBAの会では福井県民生活に役立つバス・電車マップを発行し、好評を博している。このような状況、今年も引き続き、公共交通の発展が期待される中、まちづくりの観点から、公共交通の発展を促すためのシンポジウムを開催いたします。

公共交通の発展が期待される中、まちづくりの観点から、公共交通の発展を促すためのシンポジウムを開催いたします。

このシンポジウムでは、実際に「マップDEのりつぎ調査」を実施して、マップを使って乗り場検索もしてもらい、その場でまちづくりのワークショップでまちづくりのアイデアを出していただきます。

まちづくり進歩ジウム！

10月25日（土）13:00～17:00
えちぜんKOCAN 伊 市民ギャラリー（旧生活劇場）

「マップDEのりつぎ調査」がたどった調査ルート、のりつぎ時間、のりつぎ費用、のりつぎ回数、料金など、発表いたします。のりつぎ体験の感想や意見をワークショップ形式でいただきます。

★ マップDEのりつぎ調査 報告書 ★
10月24日（金）までののりつぎ調査を行っていただきます。その結果を10月25日のワークショップで発表いたします。「当日参加がなくてもアンケートは送って下さい」

調査方法

①調査ルート（バス・電車）のりつぎ調査を実施します。
②「のりのりMAP」を参考に調査を実施します。
③調査結果をワークショップで発表いたします。
④アンケートを実施いたします。

当日の調査もOK!
当日のワークショップで調査結果を発表していただきます。当日参加がなくてもアンケートは送って下さい。

会場案内

所在地：福井市田原町1丁目13-6
TEL.0776-20-5000 FAX.0776-20-5000

福井県鉄道 田原駅前下車徒歩1分
福井県バス 田原駅前下車徒歩1分
福井県タクシー 田原駅前下車徒歩1分
福井県バス 田原駅前下車徒歩1分
福井県タクシー 田原駅前下車徒歩1分

まちづくり進歩ジウムリーフレット

なお、このシンポジウムには「北陸3日間連続シンポジウム」という名称を冠しており、11月22日に富山県高岡市で開催された『中部地区路面電車サミット at 万葉線』、11月23日に勝山市で開催された「鉄道まちづくり会議・鉄道まちづくりシンポジウム」と連動して開催しました。各地の市民団体や行政が連携して3日間連続で行ったことで、東京や北海道など、遠隔地からの参加者も見られるなど、全国的にも注目を集め、広く情報発信を行うことができました。

また、前日および当日の午前中のシンポジウムの開催時間までを、公共交通を乗り継いで、福井のまちを楽しんでもらうための案内を、ホームページを通じて提供した。

のりのりマップDEエクスカージョン 公共交通を乗継いで行くショートトリップ



七間朝市とお清水のまち
奥越の小京都 大野

福井	JR 越美北線	越前大野	レンタサイクルで散策	越前大野	JR 越美北線	福井	えち鉄 三国線	田原町	
5:58	→	6:52	七間通り朝市	11:29	→	12:20	12:40	→	12:49
9:02	→	9:55	お清水・平成大野屋 武家屋敷・郷土歴史館 本願清水イトヨの里 酒造所めぐり		¥650	13:10	→	→	13:19
									¥150

※県外からお越しの方は越前大野駅で、大変お得な「観光利用券(大野市)」がもらえます

雲水が修行に励む大本山
代表的観光名所 永平寺

福井	京福 直行バス	永平寺門前	永平寺拝殿	永平寺門前	京福 路線バス	永平寺口	えち鉄 湯山線	田原町	
10:00	→	10:33		11:38	→	11:52	11:54	→	12:17
				12:08	→	12:22	12:24	→	12:47
				12:38	→	12:52	12:54	→	13:17
					?				¥440

※福井口で三国線に乗換

都市景観大賞「蔵の辻」と名物「越前おろしそば」
紫式部も住んだ越前の府中 武生

福井	JR 北陸本線	武生	歩いて散策 (約2km)	武生新	福鉄 福武線	田原町
9:18	→	9:37	公会堂記念館	11:40	→	12:24
10:16	→	10:36	蔵の辻 京町回廊 越前そば うるし屋	12:20 12:40	→ →	13:04 13:24
						¥380

うるし屋
京町1-4-26
0778-22-0215

歴史と現在が交錯する散歩道
柴田勝家が拓いた「北の庄」 福井

福井	歩いて散策 (約4km)						公園口	福鉄福武線	田原町						
福井城址	→	繁華街	→	柴田神社	→	幸橋	→	桜橋	→	愛宕坂	→	西光寺	11:56	→	12:04
													12:16	→	12:24
													12:56	→	13:04
													13:16	→	13:24
															¥180

(4) まちづくりグループとのコラボ

分 類	まちづくり市民団体名称
鉄道存続活動団体	勝山市電車利用促進会議（勝山市） ：2月4日実施 - 第2回実施予定
鉄道存続活動団体	福井市新田塚（福井市） ：実施予定
商店街まちづくり団体	まちなかNPO ：毎月共同でまちづくり懇談会を実施 - 次回第20回
商店街まちづくり団体	松岡（松岡町） ：2月15日実施 - 第2回実施予定
商店街まちづくり団体	神明（鯖江市） ：実施予定
商店街	田原町（福井市） ：実施予定
まちづくり団体	風流塾 ：平成15年10月共同で「秋色のまちめぐり」実施 - 第2弾予定
まちづくり団体	みやま未来塾（美山町） ：2月7日実施 - 第2回実施予定
地域活性化研究団体	丹南自治研究センター（武生市） ：3月27日実施予定
移動制約者自立活動団体	あいじつ（愛の実行運動の会） ：3月2日意見交換会実施

風流塾：平成 15 年 10 月共同で「秋色のまちめぐり」実施

ふくい秋色のまちめぐりパンフレット

福井 秋色のまちめぐり

電車やバスで市内の小旅行。出かけよう
10/4㊥・5㊥・11㊥・12㊥

★大乗寺 大乗寺門前 大乗寺

温泉めぐり 湯の道コース

温泉めぐり
入館料 400円
0776-86-1111

佐野温泉
入館料 1,000円
0776-63-0439

大乗寺温泉 (すかつとランド九頭竜)
入館料 1,000円
0776-50-1188

福井ならはら温泉 (緑野荘)
0776-52-1316

バス運行時刻表(上) 京福バス(福井)一丹生

バス	京福バスターミナル	山形	大乗寺門前	すかつとランド九頭竜	佐野温泉口	みの湯
下り	5:00 10:00 11:00 12:00-12:30 13:00 14:00 15:00	9:18 10:18 11:18 12:18-12:30 13:18 14:18 15:18	9:20 10:20 11:20 12:20-12:30 13:20 14:20 15:20	9:24 10:24 11:24 12:24-12:30 13:24 14:24 15:24	9:30 10:30 11:30 12:30 13:30 14:30 15:30	9:45 10:45 11:45 12:45 13:45 14:45 15:45
上り	11:30 12:30 13:20 14:20 15:25 16:30-16:55 17:30-18:10	11:12 12:12 13:00 14:00 15:07 16:12-16:37 17:12-17:52	11:10 12:10 13:00 14:00 15:05 16:10-16:35 17:10-17:45	11:05 12:05-12:35 13:05 14:05 15:05 16:05-16:30 17:05-17:45	11:00 12:00-12:30 13:00 14:00 15:00 16:00-16:25 17:00-17:40	11:45 12:35 13:45 14:45 15:45 16:45 17:25

秋のとくとも切符情報

◆◆ 福井鉄道割引電車
10月4日(土)・5日(日)
●市内180円の区間 → 100円
●その他すべての区間 → 200円

秋のイベント情報

◆◆ 足羽川フードフェスタ
10月3日(金)～5日(日)
●福井鉄道「市役所前」駅から徒歩約1分
●すまいるバス(足羽川)バス停から徒歩約2分
●目の覚めるような秋の風景と九州の産物のグルメ、福井の味覚やアツクアツク料理をお楽しみいただけます。

◆◆ 宮ノ下コスモス広場 入場無料
9月13日(土)～10月13日(月・祝)
●福井市上町宮ノ下(福井鉄道津田橋南門前バス停)から徒歩約15分
●毎年コスモスまつり開催。

◆◆ 小次郎の里・まごころ博覧会
10月11日(土)～12日(日)
●一乗谷朝倉氏遺跡周辺
●一乗谷の歴史と自然と歴史を体験しながら楽しむことができます。

1. 旗本ウォーキング&サイクリング 9:00～16:00開催
2. 歴史博覧会 10:00～12:30～14:30～
3. 本多キョウコワークショップ 9:30～11:30～14:30～
4. フォトハイキング展 9:40～12:40～14:40～
5. 本多キョウコゲーム展 10:00～13:00～15:00～
6. 旗本の工作部 10:30～13:30～15:30～
7. つばね返し遊戯部 9:30～16:00開催
8. (注)旗本ゆかりの博物館 9:30～16:00開催

◎お問い合わせ：福井市観光協会(一乗谷) 0776-22-1100

風流塾
TEL:0776-24-0471 E:kyokushu@fukui-net.jp

ふくい鉄道電車とまちづくりの会
0776-22-1100 TEL:0776-22-1100 FAX:0776-22-1100

福井まちめぐり 足羽川・粟谷コース 文化の道コース

●足羽川・粟谷コース(3時間)

●足羽川・粟谷コース(4時間)

●文化の道コース(4時間)

自然と歴史を訪ねる 一乗谷コース

●一乗谷コース(鉄道ルート)

●一乗谷コース(バスルート)

勝山市電車利用促進会議（勝山市）：2月4日（水）19:30～21:00：勝山市民会館

ROBAの7名がえちぜん鉄道を使って、勝山市電車利用促進会議との意見交換会に行ってきました。えちぜん鉄道を使った、歳の市、左義長祭、春の弁天桜など、迎えるイベントを年12回、出かけていくイベントを年12回やって行きたいという計画や、街なかへの鉄道延伸への熱い思いなどを聞かせてもらったり、えちぜん鉄道存続後のまちづくりに力を合わせて取り組んで行きたいということ話し合ったりして、有意義な交流会になりました。



中心部のサンプラザ前から駅までは、9人のりの「電車接続タクシー」に乗り、最終電車で福井へ帰りました。その後あったかいおでんで一杯、こころもあったか。楽しかったですよ。

松岡（松岡町）：2月15日（日）15:00～16:20：県民活動センター会議室

都市再生モデル調査の一環としての出前ROBAシリーズ第3弾。皆さんで平成大野屋や武生蔵の辻を視察して来られたそうで、今回はROBAのホームグラウンドでの開催です。

町が小さいので大野や武生のようなことは出来ないかもしれないけど、「松岡の宝を発信して多くの人が集まる場所をつくりたい」「医科大・県立大・九頭竜川・古墳などをもっと活用できないか」といった意見をお持ちのようでした。

おりしも福井大と医科大が統合されたことですし、県立大もあわせ、3つのキャンパスを結ぶ公共交通の中継拠点として松岡駅周辺を整備するというアイデアも面白そうです。そうなれば、松岡駅前に学生があふれ、名実ともに「学園都市」になれそうですね。

みやま未来塾（美山町）：2月7日（土）19:00～21:00：みやま町民交流館

美山町で精力的に様々なまちづくり活動を行っている方々の勉強会「みやま未来塾」が「公共交通で美山のまちづくり」をテーマに開かれるということで、会長以下6名がまたまた出前ROBA。

当日は1mを越す積雪のなか、参加者の皆さんご苦労様でした。

<未来塾から>

「未来塾」はこれまで24回を数えるが、公共交通は初めてのテーマ。

最近、美山駅前に念願のコンビニがオープン。

隣りに新設された物産館や駐車場などの改修もあって24時間明るい場所になった。

美山駅前のコンビニと越美北線にあわせた接続バ



ス、家族の送迎車

美山町には”みらくる亭”と”らくらく亭(老人施設)”の送迎バス、小中学校用のスクールバスが走っているが、(役場のタテ割りのためか)送迎サービスに連携がみられない。そのためバス停まで30分歩かねばならず、ボランティアの送迎に頼ることになる。

役場では、次年度にコミュニティバスの運行を検討しているようだ。検討に協力したい。

<ROBAの会から>

美山駅周辺は多くの人が集える場所でもあり、地域の拠点に育てられそう。駅前でコンサートの計画があるそうだが、開催時間や案内にも配慮して、公共交通でも来やすくなるよう工夫してほしいかが。

公共交通はまちの装置、収支面だけでなく、公共施設のようにいかに役に立たせるかが大切。「公共交通の活性化はまちづくりに通ずる」という視点をぜひ行政と町民が共有して欲しい。

町営の各種のバスの使い勝手がよくなるように、運行ルートや運行時間の分析を町民自らおこなってほしいかが。バス停の名前を変えるだけでも効果がありそう。(例：島 美山駅前)

最後に、主催者から「今まで、どう取組めば良いか判らなかつたけれど、今日の話でなんとかいいそうな気分になってきた。今日の話をまちづくりに活かしたい」との感想をいただきました。

みやま未来塾

第 24 回 参加自由!

日 時、2月7日(土)午後7:00~
会 場、みやま町民交流館

<今回のテーマ>
「公共交通で美山のまちづくり」

「みやま未来塾」は、「まちづくり」に住民がもっと関心を持ち、どのように参加していったら良いのかを考え、学習しています。

さて、今回は「公共交通」に的を絞った「まちづくり」について考えます。今まさにクルマ社会の真っ只中がありますが、JR、道路バス、スクールバス、送迎バス等の公共交通を「まちづくり」にどう活かしていくのか、地域の活性化はどのように公共交通とつながっているのかについて考えてみようと思います。

つきましては、公共交通の活性化でまちづくりを考えている福井市の市民団体「ROBAの会」の協力を得まして開催いたします。

ざっくばらんな議論を予定しています。どなたでもご自由にお気軽にご参加ください。

- ◎ JR越前北線と地域
- ◎ 駅周辺のまちづくり
- ◎ 公共交通とクルマの共存
- ◎ 周辺地域と交通
- ◎ 合併問題と公共交通
- ◎ 美山町のコミュニティバス、等々

<協力> 「ふくい鉄道電車とまちづくりの会(ROBAの会)」

みやま未来塾

事務局 美山町民交流館34号 美山2-1-1 電話 411201
Eメール: miyamafuture@city.miyama.fukui.jp

今回の結果報告 第24回 開催日時2月7日

テーマ「公共交通で美山のまちづくり」

今回は、福井市の市民団体「ふくい鉄道電車とまちづくりの会(ROBAの会)」をお招きしました。悪天候にも関わらず、一般町民・奥会議員・町会議員などの参加を得て、「美山町の公共交通を活かしたまちづくり」について考えました。

<参加者の皆様から出された意見の一部>

- 「バスや」車など公共交通を利用しようという意識が低い。公共交通を利用した町づくりを推進すべきである。
- 駅の行事・イベントの開催時間を、公共交通の時刻に合わせる必要も必要だ。
- たとえば、まごころ一度の会議時間をJRの時刻に合わせてすることによって、福井市や大野市から、美山へ来たことがない人を呼び込むことになる。また、公共交通を利用できることが、参加者の安心感にもつながる。
- 「車をあきらめても、利用できるのだ。参加できるのだ」という仕組み作りやPRが必要である。
- いろいろな公共施設の近くにはバス停が必要である。駅やバス停に公共施設への案内看板「案内」などがあるだろうか。
- 美山駅の近くのバス停の名前が「島」となっているが、「JR美山駅前」という看板にすることにより、JRとの連携を考えるきっかけになるのではないか。
- 美山町がコミュニティバスの試行運転を検討しているが、企画段階から住民の意見、つまり利用者の意見を取り入れることが必要ではないか。町民・バス業者・行政の連携が必要である。
- コミュニティバスを走らすより、現在あるバスを連携させて有効活用する方法がある。
- スクールバス、みらくる亭・らくらく亭等の送迎バスを連携させて、効果的に活用する方法はないのか。それぞれの運用状況や課題を把握することにより、方法が見えてくるのではないかと。制度上の問題や法律の壁を取り払う方法として、国の構造改革特快申請するのの一つの方法だ。
- 美山町は「車」が多く、人口が分散しており、公共交通の運営において効率が悪い。しかし、大野市の山間部においては、路線バスを廃止して、乗り合いタクシーに切り替えて、便数を増やした例がある。他県では、地域の人が乗り合いタクシーを運用している例も多い。みんなで利用し合う、希望時間に定着乗り合いタクシーの運用は有効的である。
- 住民が要望するだけでは問題は解決しない。意見と知見を出し合って、その必要性を踏まえて、コンセンサスを得る努力が必要である。
- 公共交通の活用を考えるとき、車から徒歩の意識ではなく、利用する側の意見を反映させるべきである。
- 「行儀のお願い」や「乗って残そう」の運動は、全国的に見て失敗している。行政に任せるとして、住民が参加して支える「仕組みづくり」が必要である。
- 全国のバス路線で70%が赤字である。まちづくりに公共交通が必要であれば、赤字であっても取り組むべきである。公共交通を廃すことが地域の活性化に必要である。住民も参加して、どのような形で公共交通を維持すべきかを考える必要がある。

<文責・事務局>

(5) 県外交流 交通・まちづくりグループとのコラボ

分 類	県外交流 交通・まちづくりグループ名称
交通まちづくり グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・路面電車と都市の未来を考える会・高岡（RACDA高岡） ：北陸3日間連続シンポジウム共同実施 平成15年11月22日中部地区路面電車サミット共催 交流会平成15年12月6日実施、交流会4月18日実施予定
	<ul style="list-style-type: none"> ・万葉線を愛する会：中部地区路面電車サミット共催
	<ul style="list-style-type: none"> ・豊橋市電を愛する会：中部地区路面電車サミット共催
	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜未来研究団：中部地区路面電車サミット共催
	<ul style="list-style-type: none"> ・北勢軽便鉄道をよみがえらせる会/阿下喜駅を残す会 （3月1日よりASITA・北勢線とまち育みを考える会） ：交流会平成15年12月6日実施
	<ul style="list-style-type: none"> ・金沢の明日の交通を考える市民会議：交流会4月18日実施予定
	<ul style="list-style-type: none"> ・金沢・LRTと暮らしを考える会：交流会4月18日実施予定
	<ul style="list-style-type: none"> ・とやま公共交通市民応援団：交流会4月18日実施予定
地方鉄道問題協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道まちづくり会議 ：北陸3日間連続シンポジウム共同実施 平成15年11月23日鉄道まちづくり会議・鉄道まちづくりシンポジウム
路面電車問題協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・中部地区路面電車愛好支援団体協議会（サミット）

・ROBAの会の全国都市再生モデル調査が新聞報道される

これは、会員でもある同社の記者が書き溜めた記事が採用されたもので、活動内容が詳細かつ的確に表現されている。

福井の「ROBAの会」のまちづくり



報告書の内容を議論するROBAの会メンバー＝福井市大手3丁目

国の「全国都市再生モデル調査」対象に

公共交通を生かしたまちづくりを訴える福井市の市民団体「ふくい路面電車とまちづくりの会（ROBAの会）」のまちづくりの提案が、内閣官房都市再生本部が初めて実施した「全国都市再生モデル調査」の対象に選ばれた。同会は今年度の取り組みを中心とした活動報告書の作成に取り組んでいる。公共交通中心のまちづくりと、NPOや市民が地域づくりの中心を担う仕組みを提案する。

「市民が主役」提案へ

都市の魅力を高め、社会に活力を取り戻すことを目的に、全国の人、市民団体から活動提案を募

り、採択した事業には調査委託費として1団体約500万円、計10億円を補助する事業。全国から644件の応募があり、171件が採択された。うちNPO、市民団体の提案が63件を占めた。県内からは2自治体を含む9団体が応募したが、「えちぜん鉄道」を核とした公共交通の活性化による「まちづくり」をテーマにした同会だけが選ばれた。同会がえちぜん鉄道を核に考えたのは、嶺北地域の基幹鉄道であるほか、電車存続運動に市民が大きな役割を果たした経緯からだ。しかし、沿線住民の存続運動は、存続が決まってからは目立った動きがない。「存続はゴールじゃない。存続からまちづくりへ、活動を一歩進め、市民が主役のまちづくりを根付かせたい」と同会監事の林博さん(54)は語る。

報告書作成に取り組む

報告は、本編、資料編を含むせて100ページになる見込みだ。03年4月には県内全路線を網羅した折り返し式のバスマップ「ふくいりのりマップ」を9千部作成した。全路線バスと自治体バスの路線が一目で分かり、線の太さで便の頻度を表すなど利用者に必要な情報を利用者自身が集めたものだ。同年10月には電車やバスの乗り継ぎのしやすさを体験、チェックする「乗り継ぎ調査隊」を実施した。その結果、便数が少なく、乗り継ぎが不便でも、携帯電話への情報提供や商業施設とつないだ待合室の設置など、乗り継ぎの心理的抵抗感を減らせる工夫がたくさんあることが分かった。また、勝山市電車利用促進会議、みやま未来塾(美山町)、松岡駅周辺まちづくり計画ワークショップ会議(松岡町)など、各地の市民団体と課題共有のために交流ネットワークもつくった。

メンバーは週一回集まり、報告書の作成作業をしている。「ダイヤが不便とか運転手が不親切とか、文句を言うだけではダメだ」「市民と行政の協働はあるけど、市民と事業者の協働事業はできないか」「優良バス停や運転手を表彰したい」。話し合いはにぎやかだ。「しがらみなく自由な意見が言えるのが市民の強み。行政にはできない提案をしたい」とメンバーは話している。

3. 公共交通まちづくりアドバイザー会議

	日 時	場 所
第1回	1月15日(木) 15:30~17:00	福井県民活動センター研修室
第2回	3月22日(月) 13:30~15:00	福井県教育センター会議室

	名 称	氏 名
国	近畿地方整備局 都市整備課街路係	石 鍋 一 文 係長
	中部運輸局 鉄道部監理課	星 野 雅 則 課長
	中部運輸局 福井運輸支局 総務企画課	佐々木 貞 明 係長
福 井 県	土木部 都市計画課	五十嵐 康 之 課長 杉 原 忠 弘 主任
	県民生活部 総合交通課	島 田 英 夫 主任
	県民生活部 えちぜん鉄道支援課	伊 東 尋 志 主査
福 井 市	市民生活部 総合交通課 都市交通対策室	山 口 秀 明 主事
	都市政策部 都市計画課	宮 下 和 彦 副主幹
	都市政策部 都市整備推進室	高 間 光 夫 副主幹
	商工労働部 TMO推進課	橋 本 亜由美 主査
交通事業者	えちぜん鉄道株式会社	見奈美 徹 専務
	京福バス株式会社 管理部	矢 崎 孝 明 部長
	福井鉄道株式会社	鈴 置 宏 住 常務
学識経験者	福井大学工学部 建築建設工学科	川 上 洋 司 教授

順不同、敬称略